

優秀賞

鳴鹿小学校6年

👑 清水彩帆さん

●研究テーマ

カラスと私のソーシャルディスタンスを測る

動機

3年前から野鳥を観察するうち、カラスの面白さに夢中になった。松原始さんの著書に「カラスがかたに乗ってきます」と衝撃的な一文があり、その秘けつを探りたいと思った。

内容

カラスに近づき、カラスの飛んだ位置と自分の足の位置との距離を調べた。服の色によってカラスに近づく距離が変わると予想した。全部で204個のデータを取り、ヒストグラムで表してみると、服の色だけではあまり差がなく、カラスを追いかけた場所と服の色の組み合わせによって近づく距離が変わる事に気がついた。日向の芝生の上では黒い服より白い服の方が近づくのに対して、木かげでは、黒い服の方がより近づく事ができた。

まとめや感想

今回の研究で一番近づけたのは、木かげで黒い服の時で1.48m、とても近く感じた。また、全データのヒストグラムから得られた最ひん値は6~9mだった。木かげでは0~5mと近くなった。昨年の研究から、紫外線を反しゃする白い服、吸収する黒い服の差を比べたが、日向で白い服の方が近づくなど、予想と異なる結果が得られ、もっと調べる必要があるという事が分かった。新型コロナウイルスの影響で夏休みが短くなってしまったが、毎朝観測をし、やっと手に入れた記録だったので、達成感があった。

